

津南小『南風』学舎 教職員の心得 10ヶ条

平成28年4月

※ 津南小は「空に明るい学び舎 温かな南風の吹く南風学舎」

① 《職員室の皆で問題を考えましょう》

問題は一人で抱え込まないようにしましょう。担任だけで抱え込まないように。学年だけで抱え込まないように。学校全体の問題として、問題を早めに共有化させてください。一人で問題解決に当たることだけが、正しいこととは限りません。

② 《小まめな「連絡・相談」を》

問題を校長や教頭にこまめに伝えて下さい。

聴いていれば、管理職の責任となります。私は管理職手当の一部は、話を聴いて責任を取るためにもらっていると考えています。

③ 《小さなことを小さなうちに伝えて下さい》

教育委員会で働いていてよく思ったことは、「初動の対応ミス」が大きな問題となることが多いと思いました。大きな問題の解決には大きなエネルギー必要となります。連絡・相談は「小さなうちに できるだけ早く」

④ 《誠意はスピード》

時間がたつと誠意は伝わらなくなります。対応が遅いことで大きな問題となります。「問題解決はその日のうちに」を原則で。

⑤ 《保護者対応のポイントは初期対応とフェイス・ツー・フェイス》

初期対応のまずさは保護者をクレイマーに変化させてしまいます。できるだけ足を運び、顔を見ながらの対応をお願いします。家庭訪問をする時は、一人でなく、複数で。

⑥ 《記録は口ほどにものを言います》

記憶よりも「記録」。お互い気になることはメモをとるようにお願いします。走り書きのメモで十分です。いざとなったら記録は本当に大切です。

⑦ 《まずは電話の接遇から》

「学校の常識は社会の非常識」私は出向生活の中で、この言葉を言われることを一番悔しく思ってきました。まずは電話の接遇から。

「はい、津島南小学校の〇〇です。今校長は所用で職員室におりません。後で電話をかけるように連絡します」。電話のコールは3回を過ぎたら「お待たせしました」の一言。

⑧ 《学校のお客様へは丁寧な対応を》

学校には多くの来客があります。社会人として丁寧なあいさつと対応を。業者の方には親しみをもって接し、尊大な態度は慎みましょう。

⑨ 《信用を失うことのないように》

この心得は、私が一番気を付けなければなりません。子ども・保護者・地域そして同僚の信用を失わないように注意しましょう。私の「パワハラ・セクハラ」を感じたら、すぐに申し出て下さい。「交通安全」に気をつけ、些細な事故も起こしたらすぐに相談を。

⑩ 《学ぶ者、前に進む者のみが教える資格あり》

私たち教師も学ぶ姿勢を大切にしましょう。学ぶ姿勢をもつ者のみが子どもたちを教える資格があります。